

# NNNドキュメント・クロニクル 1970-2019



[NNNドキュメント・クロニクル 1970-2019\\_ダウンロード1](#)

著者:丹羽 美之

出版者:東京大学出版会

出版时间:2020-2

装帧:平装

isbn:9784130501996

作者介绍:

目録: はじめに (丹羽美之)  
真夜中のジャーナリズムーNNNドキュメント (丹羽美之)  
NNNドキュメントの50年ー “時代を映す鏡” (菊池浩佑)  
時代 (いま) を切り取り, 古 (いにしえ) として遺す (谷原和憲)  
第1部 テーマで見るNNNドキュメント  
[農村] 米農家たちの闘い (松山秀明)  
[沖縄] 議論する人々の島 (松下優一)  
[公害] 「レイト・カマー」から見た水俣 (西田善行)  
[原発] 核被害の経験をつなぐ (瀬尾華子)  
コラム 出演者の背中を押す撮影 (堀越 伶)  
[ジェンダー] 境界を越えること, その苦悩と葛藤 (伊藤 守)  
[貧困・格差] 声をあげる労働者たち (李旼晧)  
[外国人・移民] 移民政策なき移民大国で (章雯晶)  
コラム 「対面」という方法 (李美淑)

コラム マスメディアに傷つけられた人々（荒井 俊）  
「教育」 教育問題を地域社会に取り戻す（小川豊武）  
「病い」 患者たちの物語（加藤美生）  
「障害」 共に生きる社会へ（丸山友美）  
コラム アーカイブから老いを考える（近藤和都）  
コラム 出版人から見た映像の力（渡辺千弘）  
「戦争」 戦後X年特集に見る戦争観（藤田真文）  
「原爆」 「ヒロシマ」を複数化する（鈴木麻記）  
「アジア」 アジアの戦争被害（丁智恵）  
コラム 磯野恭子と中国残留婦人（王楽）  
コラム これはドキュメンタリーなのか？（今枝翔太郎）  
「政治」 「わたし」たちの民主主義（森田のり子）

## 第2部 放送記録 2465回の軌跡

1970-1979年

制作者コラム

スタートは1970年（氏田 宏）

70年1月001のドキュメントの音効（高田暢也）

何故撮り続けることが出来たのか（池松俊雄）

瀬戸内海は、今日も碧いか、穏やかか（上原富士夫）

《激動する沖縄》の30年（森口 豁）

1980-1989年

制作者コラム

目を閉じて見えるあれこれ（杉山平和）

社会の「空白」を映し出すNNNドキュメント（向井嘉之）

核の平和利用という幻想（片野弘一）

初演出作品の思い出（稲田裕之）

Nドキュの塔は高くそびえ（伊藤清隆）

見てしまった者の責任（武居信介）

核はいらない 核まいね（黒滝久可）

1990-1999年

制作者コラム

“仲間”に恵まれて（竹島章記）

午前1時のお迎え（大脇三千代）

『我是政治難民』制作にあたって（高岸 勝）

『プルトニウム元年』の時代（上重五郎）

NNNドキュメント93『47年目の戦災

～大分市の不発弾爆発事故～』（10月31日）（園田雅之）

NNNドキュメントと私（西文俊）

ドキュ7（佐藤幸一）

時空を超え「思い」を伝える（河野信一郎）

2000-2009年

制作者コラム

犯罪被害者・声なき声を届けたい（堀川雅子）

Nドキュとの出会い（芝田和寿）

25本の花を咲かせた、ある言葉（金本進一）

小さな声と正義（安田（重森）由佳）

志布志事件「嘘ひいごろ」Nドキュへの思い（蛭川雄二）

Nドキュで試行錯誤した“貧困報道”（水島宏明）

「伝えたい」の焦点（佐々木聡）

見過ごすな“被害者”の「痛み」（征矢野泉）

2010-2019年

制作者コラム

NNNドキュメントとともに35年（遠藤 隆）

モデル農村を見つめた30年（石黒 修）

あの日を伝え続けることが未来の命を守る教訓（渡邊 司）  
Nドキュから生まれたライフワーク“X年後”（伊東英朗）  
地方の片隅で生きる（岩本千尋）  
ドキュメント45は福島をどう描いているだろうか（佐藤 崇）  
共感の先にある，同期．（有田泰紀）  
．．．．．（[收起](#)）

[NNNドキュメント・クロニクル 1970-2019\\_ 下载链接1\\_](#)

标签

纪录片

日本

战后

评论

-----  
[NNNドキュメント・クロニクル 1970-2019\\_ 下载链接1\\_](#)

书评

-----  
[NNNドキュメント・クロニクル 1970-2019\\_ 下载链接1\\_](#)